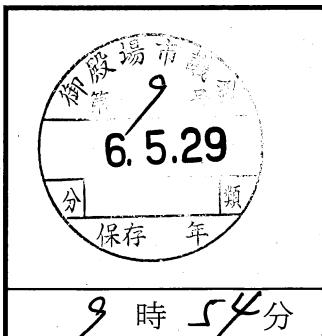


発 言 通 告 書

次のとおり発言の通告をいたします。
令和6年 5月29日

御殿場市議会議長 様

御殿場市議会議員 16番 勝間田 博文



発言の種別 代表質問・**一般質問**・一括質問・一括答弁方式 **一問一答方式**※ 選択制

質問事項1 富士山火山防災対策について

具体的な内容 不確実性の要素が多い富士山の火山災害では、多くの住民が遠方まで避難することが必ずしも効果的とは言えない。生活基盤をなるべく維持しつつ、避難が必要になった段階で、その範囲の住民が、短期間で避難できるよう計画を策定する必要がある。市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、以下4点について伺う。

質問

- 1 新たに策定された御殿場市富士山火山避難計画の概要について伺う。
- 2 溶岩流からの避難について伺う。
- 3 各自主防災会との連携した対応について伺う。
- 4 避難計画を策定したが計画の課題と実施すべき対応について伺う。

発言の種別 代表質問・**一般質問**・一括質問・一括答弁方式 **一問一答方式**※ 選択制

質問事項2 令和6年能登半島地震発生に伴う御殿場市の被災地支援と教訓について

具体的な内容 令和6年能登半島地震により、奥能登の輪島市、珠洲市、穴水町、能登町、そして中能登の七尾市、志賀町の6市町を中心に、甚大な被害となった。人的被害は、1,448人、住家被害は79,618棟となり、水道、電気、通信等のライフラインも広範囲で寸断した。当市も含め全国から様々な支援が拡大しているなか、以下3点を伺う。

質問

- 1 御殿場市の被災地支援について伺う。
- 2 感震ブレーカーについて伺う。
- 3 トイレトレーラーについて伺う。